

平成 27 年度 環境省・林野庁・北海道事業の予定

平成 27 年度 調査等の報告

No.	実施者	事業	事業費	概要
1	環境省	中央部地区（羅臼湖）における利用の適正化	40 万円	・羅臼湖において、歩道整備の効果を確認するための植生のモニタリングを実施する。
2	環境省	先端部地区における利用の適正化	70 万円	・先端部地区に関して、インターバルカメラによる利用状況等の調査を実施する。
3	環境省	羅臼岳、知床連山登山道の維持管理	300 万円	・羅臼岳・硫黄山・知床連山の登山道のササ刈り、ガイドロープ・迷い込み防止ロープの設置、土嚢設置等を実施する。
4	環境省	海域利用の適正化、海中ゴミの回収、清掃活動	600 万円	・ウトロ海域においてケイマフリの生息状況調査を実施する。 ・羅臼沖において、潜水による海中ゴミの調査・回収を実施する。 ・国立公園内の清掃活動を実施する。
5	環境省	ヒグマ保護管理方針に基づく管理	600 万円	・ヒグマ出没状況の把握や出没に関する情報提供・利用者に対する普及啓発活動を実施する。
6	環境省	科学委員会等の運営	1,900 万円	・知床世界自然遺産地域科学委員会、適正利用・エコツアーリズム検討会議、知床データセンター、報告会の運営を実施する。
7	環境省	エゾシカ対策業務	未定	・生態系モニタリングとして、植生調査、エゾシカ航空カウント調査を実施する。個体数調整として、囲いわなやルサー相泊間での流し猟式シャープシューティングを実施する。
8	林野庁	知床ルシャ川等におけるサケ類の遡上数等調査事業	480 万円	知床ルシャ川・テッパンベツ川の 2 河川において、カラフトマスの遡上数等の調査を行う。
9	林野庁	オショロコマ生息等調査	800 万円	遺産地域及び遺産隣接地域の 37 河川で水温調査を実施するとともに、8 河川でオショロコマの生息数及び外来魚等の調査を実施する。また、河川工作物アドバイザー会議を運営する。

10	林野庁	エゾシカ採食圧調査	300万円	遺産地域及び遺産隣接地域の13箇所において、エゾシカの採食状況、及び土壌流出状況の調査を実施する。
11	林野庁	知床ウトロ地区エゾシカ捕獲事業 (11箇所程度) ※H27.8現在	未定	ウトロ地区（遺産隣接地域）外において囲いワナ、モバイルカリング等によるエゾシカ生体捕獲を実施する。
12	林野庁	希少野生動植物保護管理業務	130万円	自然保護管理員を配置して巡視を行うことにより、シマフクロウの保護及び環境の保全等を図る。
13	北海道	サケ科魚類遡上状況調査（長期モニタリング調査）	270万円	・ルサ川について、長期モニタリングとしてサケ科魚類の遡上・産卵状況を確認するための調査を実施する。
14	北海道	サケ科魚類遡上状況調査（河川工作物改良前調査）		・改良工事を予定しているモセカルベツ川について、サケ科魚類の遡上・産卵状況を確認するための調査を実施する。
15	北海道	河川工作物改良によるサケ科魚類遡上効果確認調査	1,123万円	・改良工事を実施した羅臼川について、サケ科魚類の遡上・産卵状況を確認するための調査を実施する。
16	北海道	羅臼岳登山における携帯トイレ利用促進啓発用リーフレットの作成・配付	20万円	・携帯トイレの利用を促すため、携帯トイレの販売場所やトイレブース・回収場所を記載したリーフレットを作成。遺産関係施設に配置するとともに、空港、道の駅、バス会社、レンタカー会社等の交通機関や登山ツアー主催会社、登山用品店に配付し周知を依頼した。
17	北海道	カムイワッカへの行き方啓発用リーフレットの作成・配付	22万円	・マイカー規制やシャトルバス利用期間の設定など、カムイワッカ湯の滝や知床五湖へのアクセス方法の周知や、渋滞緩和のためのシャトルバス利用を促すため、リーフレットを作成。遺産関係施設に配置するとともに、レンタカー、バス、タクシーなどの交通機関、ホテル、観光案内所などの観光関連施設に配付し周知を依頼した。

平成27年度 施設整備の予定

No	実施者	名称	事業費	概要
1	環境省	羅臼岳登山線道路（歩道）保全修復工事	3,300万円	・羅臼岳登山線道路（歩道）の岩尾別から羅臼平までの歩道整備を実施する。